

科目	CAD基礎 (Computer Aided Design )		
担当教員	中西 宏		
対象学年等	都市工学科・3年・後期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	-	JABEE基準1(1) -
授業の概要と方針	本講義では、パソコン上のCADソフト (JW-WIN) を使用し、CADの基本的な描画操作を説明し、パソコン操作はもちろんCADによる製図を修得してもらう。また、演習として2点程度の設計課題についてCAD図面を作成してもらう。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	JW-CADを用いた製図ができるようになる。		到達度を課題成果物の図面巧拙により30点満点で評価する。
2	都市緑地の計画の基本的事項を習得できる		都市緑地の基本的事項および設計条件が課題成果物にどのように盛り込まれているかで40点満点で評価する。
3	土木CADができる。		設計製図としての到達度を課題成果物より30点満点で評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、レポート100%として評価する。総合評価は上記評価方法1, 2, 3の合計点とする。		
テキスト	プリント		
参考書	「都市緑地の計画と設計」：内山正雄編（彰国社） 「やさしく学ぶJW-CAD for WINDOWS」：Obra Club著（エクснаレッジ）		
関連科目	設計製図，橋梁工学，応用CAD		
履修上の注意事項	本教科の関連科目は設計製図および橋梁工学であり、CAD基礎で描画する内容を設計製図で学び、またCAD基礎で修得した技術を橋梁工学で応用する。なお、本教科の授業は設計製図とペアになっており、クラスの1/2づつ交代で受講する。		

